

2015年理学部(数理) 第1問

1 次の各間に答えよ。

- (1) 実数 k に対し、方程式 $x|1-|x|| = k$ の異なる実数解の個数を求めよ。
- (2) 赤玉 a 個、白玉 b 個、青玉 c 個が入っている袋があり、次の(i), (ii), (iii)が成り立つとする。
- (i) この袋から 1 個の玉を取り出すとき、赤玉が出る確率は $\frac{1}{2}$ である。
- (ii) この袋から 2 個の玉を同時に取り出すとき、赤玉と白玉が 1 個ずつ出る確率は $\frac{1}{7}$ である。
- (iii) この袋から 3 個の玉を同時に取り出すとき、赤玉と白玉と青玉が 1 個ずつ出る確率は $\frac{6}{35}$ である。

このとき、 a, b, c を求めよ。

(i) $f(x) = x|1-|x||$ とおく

(i) $0 \leq x < 1$ のとき。

$$f(x) = x|1-x| = x(1-x)$$

(ii) $x \geq 1$ のとき。

$$f(x) = x|1-x| = x(x-1)$$

(iii) $-1 < x < 0$ のとき

$$f(x) = x|1+x| = x(x+1)$$

(iv) $x \leq -1$ のとき

$$f(x) = x|1+x| = -x(x+1)$$

(i) ~ (iv) より、 $y = f(x)$ のグラフは石のようになる。このグラフと $y=k$ の異なる交点の個数が方程式の実数解の個数であるから、

$$\left\{ \begin{array}{l} 1 \text{ 個 } (\frac{1}{k} < -\frac{1}{4}, \frac{1}{k} < \frac{1}{4} \text{ のとき}) \\ 2 \text{ 個 } (\frac{1}{k} = \pm \frac{1}{4} \text{ のとき}) \\ 3 \text{ 個 } (-\frac{1}{4} < \frac{1}{k} < \frac{1}{4} \text{ のとき}) \end{array} \right.$$

(2) $a+b+c=N$ とおくと、

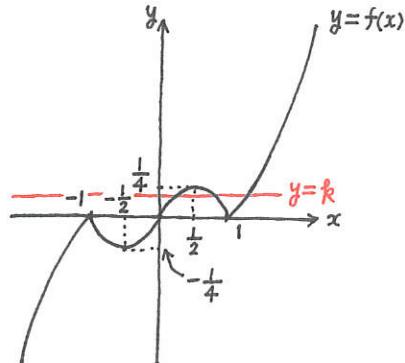
(i) より、 $\frac{a}{N} = \frac{1}{2} \cdots ①$

(ii) より、 $\frac{ab}{NC_2} = \frac{1}{7} \therefore \frac{ab}{N(N-1)} = \frac{1}{14} \cdots ②$

(iii) より、 $\frac{abc}{NC_3} = \frac{6}{35} \therefore \frac{abc}{N(N-1)(N-2)} = \frac{1}{35} \cdots ③$

②に①を代入して、 $\frac{b}{N-1} \cdot \frac{1}{2} = \frac{1}{14} \therefore b = \frac{N-1}{7} \cdots ④$

③に④を代入して、 $\frac{c}{N-2} \cdot \frac{1}{14} = \frac{1}{35} \therefore c = \frac{2N-4}{5} \cdots ⑤$



また①より

$$a = \frac{1}{2}N \cdots ⑥$$

④~⑥の辺々を足して、

$$a+b+c = \frac{10N-10+35N+28N-56}{70}$$

$$\therefore 70N = 73N - 66$$

$$\therefore N = 22$$

$$\therefore \underline{\underline{a=11, b=3, c=8}},$$